



信金中央金庫

SCB SHINKIN CENTRAL BANK

地域・中小企業研究所

ニュース&トピックス No. 2022-7

(2022. 4. 25)

〒103-0028 東京都中央区八重洲 1-3-7 TEL. 03-5202-7671 FAX. 03-3278-7048  
URL <https://www.scbri.jp> e-mail : s1000790@FaceToFace.ne.jp

## 住友生命保険相互会社の「Vitality DX塾」

とね かずゆき  
刀禰 和之

### ポイント

- 持続可能なビジネスモデルの転換が求められるなか、自金庫に適したDXを推進するべく各信用金庫のDX人材育成策が活性化している。
- 他業態に目を向けると住友生命保険相互会社は、2019年度に「Vitality DX塾」(DX塾)を立ち上げ、上流工程エンジニア職の育成に乗り出した。
- 同塾は大きく、集合研修と遠隔型ワークショップからなる。グループワークなどを通じて、エンジニア職が柔軟な発想やビジネスセンスを学ぶことを重視する。
- 2021年12月現在、システム子会社を含む175人が同塾を受講済である。同社では、エンジニア職のマインドセットやリスキリングに同塾が有効と評価している。

### 1. DX塾の開講

住友生命保険相互会社は、2019年度より、DX人材<sup>1</sup>の育成強化に取り組んでいる(図表1)。同社は2018年度の健康増進型保険「Vitality」発売を通じて、エンジニア自身がビジネス起点で物事を捉え、顧客視点でサービスやシステムの設計を考える必要性を痛感し、DX塾を開講した。

### 2. DX塾の概要

DX塾は自主的な勉強会・OJTを制度化したものである<sup>2</sup>。そのため業務時間中に実施

するものの、受講を強制したり、業績評価に直接反映したりするものではない。受講生の所属・年次・役職などは問わず、公募で受講意欲の強い職員を募っている。なお、同社は生涯学習として同塾を提供する考え方なので、卒塾や退塾の概念はない。受講生は自身の業務繁忙などを考慮し、可能な範囲で継続的に同塾を受講して差し支えない。

### 3. 研修の内容

同塾は大きく、①年2回程度実施する「集合研修」と、②2~3か月に1回の頻度で実施する「遠隔型ワークショップ」からなる(図表2)。

(図表1) 会社概要

会社名	住友生命保険相互会社
創業	1907年(明治40年)5月
本社	大阪府大阪市
東京本社	東京都中央区
営業拠点	支社: 87 支部: 1,451
従業員数	42,954人 (職員 10,973人) (営業職員 31,981人)

(備考) 2021年3月末

<sup>1</sup> 同社ではDX人材を上流工程のエンジニア職と位置付ける。

<sup>2</sup> 組織としての事務局はなく、ボランティア的に活動する役職員が取り仕切っている。

### (1) 集合研修の内容

集合研修は、①そもそもDXとはどういったものなのかを学び、②DX関連用語やビジネスモデルの変革事例を調べ、③新しいビジネスモデルを考える1日研修である。新規異動者を主な対象とするため、原則として年2回、上期中に実施する。

### (2) 遠隔型ワークショップの内容

遠隔型ワークショップは、DXに関する情報収集とビジネス発想力を継続的にトレーニングする研修である。事前に与えられた課題に対するビジネスアイデアを限られた時間内で取りまとめるもので、グループによるロジカルシンキング研修に近い内容と言える。

オンラインによるグループワークを中心に、受講生は5人程度のチーム単位で課題に取り組む。部門長の判断で業務時間中の活動も可能だが、受講生は通勤時間や業務の空き時間などを積極的に活用し、情報収集や提案資料を作成している。

(図表2) DX塾の概要

研修名	集合研修 (マインドセット研修)	遠隔型ワークショップ (継続研修)
実施頻度	・ 年2回程度	・ 2か月～3か月に1回 (継続して実施)
対象者	・ 1人1回のみ実施 (希望者のみ)	・ 集合研修受講者のうち希望者のみ
内容等	<ul style="list-style-type: none"><li>・ そもそもDXとはどういったものなのかを学び、DX関連用語やビジネスモデルの変革事例を調べ、新しいビジネスモデルを考える集合研修</li><li>・ 短時間(1時間)でビジネスモデルを考え、その場で発表する形式の研修</li><li>・ ビジネスを考えるステップを学び、IT技術者がビジネス目線で提案できるようになることが目的</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ DXに関する情報収集とビジネス発想力を継続的にトレーニングするための研修</li><li>・ DXに関わる技術やビジネスモデルは日々変化するため、継続的なキャッチアップが必要</li><li>・ 空き時間を有効活用して研鑽することが目的</li></ul>

(備考) 住友生命保険相互会社資料より信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

## 4. 評価

### (1) 受講状況など

2021年12月時点のDX塾の受講生数は、同社本社33人、システム子会社142人の175人となる<sup>3</sup>。遠隔ワークショップには、毎回50人程度の受講生が参加する。受講生の属性をみると、今後のマネジメント層が期待される30代～40代前半が中心である。同社では、上流工程エンジニア職のDX人材育成に同塾は貢献していると評価する。

### (2) 今後の展開

今後の計画を挙げると、現行のDX塾よりもう一段ハイレベルな上級者向けコースの開講がある。具体的には、遠隔型ワークショップで実施するビジネスアイデアの企画を、より現実的なものにするなどなどを想定している。

以上

<sup>3</sup> 協力会社の従業員や有料研修の受講者等を除く。